



# 鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和4年3月1日

第 1 1 号

## 学校における最大行事「卒業式」

～卒業生の姿を目に焼き付ける在校生、在校生の拍手で送られる卒業生～

校 長 服部幸司



91カ国・地域から約2,900人の選手が集まり、史上最多の109種目が行われた北京オリンピック。日本は冬季最多のメダル18個を獲得。4年に1度というプレッシャーの中、「過去最高の自分」を表現しようとする姿に、私たちは、息を飲み、視線を釘付けにされました。

本校では、先月24日、120名の3年生が県公立高校学力検査に臨み、今月4日の県公立入学許可候補者発表を待っているところです。3年生全員の進路決定までは緊張の続く日々になりますが、今は、教職員も生徒も学校全体で、学校における最大行事である卒業式に向けて取り組んでいます。

年度当初から掲げてきた「心震える卒業式」を今の状況の中、どう実現できるのか。昨年度の反省も生かし、

- ①卒業生の式に臨む姿、卒業証書授与の姿を在校生の目に焼き付けたい。
- ②卒業生の入退場等、さざ波のような拍手から体育館に響きわたる大きな拍手で演出したい。
- ③凝縮した式とし、1時間程度の式としたい。

この3点は必須であると捉えるとともに、会場である本校体育館の広さを考え、在校生(2年生)の参列、保護者参列は1名までといたしました。

中学校の卒業式は、義務教育の教育課程を全て修了したことを祝う式です。保護者の皆様の心に残る式歌と言え、『仰げば尊し』『巣立ちの歌』『旅立ちの日に』などでしょうか。本校では、マスク越しの歌声になりますが、『群青(ぐんじょう)』を卒業生が合唱します。『群青』は、福島県南相馬市立小高(おだか)中学校の生徒達が、東日本大震災によって離ればなれになってしまった仲間を思いやって、つぶやいたり、書き留めたりした言葉を、音楽科教諭がまとめて、曲を付けた作品です。「♪響け この歌声 響け 遠くまでも あの空の彼方へも♪」の部分など、心を揺さぶられます。



3月4日から13日は、北京パラリンピックが開催され、選手たちのパフォーマンス・言葉に改めて多くのことを私たちは学ぶに違いありません。北京パラリンピックのマスコットは「雪容融(シュエ・ロンロン)」。続く様々な制限下の中でも、私たち大人も数十年前の卒業式を思い出して、他人に対する寛「容」の心を持ち、「雪」をも「融」かす温かい気持ちで全ての人々に接していきたいものです。